

ひ み とく さん ひん
【氷見の特産品】

ハトムギ



名前はハトムギだけど、^{むぎ}麦ではなくイネ科の1年草です。原産地は東南アジア。中国に伝わって食糧として栽培されるようになりました。中国ではハトムギを米のように炊いたり、粉を団子にして食べていたようです。

日本には、江戸時代の朝鮮半島から伝わったとされますが、当時は主にお茶として飲まれていたようでした。

氷見市でハトムギ栽培が始まったのは昭和60年。転作用作物として、細越地区で栽培がスタートしました。細越の皆さんは地区全体で栽培に取り組み、焙煎はとむぎ茶やとむぎせんべいなどの商品化にも成功しました。

JA氷見市が設立した農業生産法人(株)JAアグリひみは、県や市と協力しながら、栽培の普及に取り組みました。そして平成18年からはJA氷見市がペットボトルタイプのはとむぎ茶を売り出し、この商品が大ヒットしました。

また、ハトムギの医学・薬学的な効果を証明する研究を進めており、機能の高いハトムギエキスを加えた新しい商品の開発とハトムギのブランド化も進めています。